



〒761-8084
香川県高松市一宮町908-3
代表TEL／087-885-7333
FAX／087-885-7332

<http://www.rsadd.com/>

- 設立
- 社長
- 資本金
- 社員数
- 基本給
- 休日休暇

1991年2月21日
日下 昇
1,000万円
20名(アルバイト含む)
200,000円
完全週休2日、年末年始5日、他5日連続休暇
年間休日115日
有給休暇10～20日

●福利厚生

各種社会保険、退職金共済
産休・育児休業制度、就業補償
住居手当、スポーツ用品の提供
通勤手当、残業手当、出張手当
業績手当、賞与(7月、12月、期末)
社員用駐車場有

- ▶インターンシップの受入れ／可
- ▶大学生アルバイトの受入れ／可
- ▶採用担当者連絡先／

採用担当者連絡先／087-885-7333
担当：日下 昇
mail／add@rsadd.com

株式会社スポーツライフ

(ラケットショップ アッド・アッド スポーツフューチャー)

テニス・ソフトテニス・バドミントン・卓球専門店、その他スポーツ用品取扱店の運営
スクール事業(テニス・ソフトテニス・バドミントン・卓球・その他各種スポーツ)、各種スポーツ関連企画事業



日下 直人さん(営業部長)
日下 彩香さん(バドミントン担当)

地域にスポーツの魅力を伝えるとともに、スタッフが「入社してよかった!」と思えるブランド力を確立するため、スクールとショップの両輪でさまざまな新しい企画や働きやすい体制づくりに取り組んでいるところです。コロナ禍が少し落ち着いて、スクールもショップも業績は好調。取引先メーカー

から「活気があるね」と言われるほどに復調しました。口コミ中心で評判が広がり、ソフトテニス・バドミントン・卓球などでも空気がないクラスが多くなってきています。この勢いをどう次の段階へ育てていくかが今後の鍵となるでしょう。社員に対しては、好きなスポーツを仕事にして長く働ける環境を守りたい。22年は休日体系が改善されて生産性の高い年でした。プレイヤーとして一人一人が切磋琢磨するだけでなく、チームで協力するプロジェクトにもっと力を入れ、「みんなの力」を高めていくのが今の目標です。(直人さん)

小・中学生と大人に二層化しがちだったクラスに高校生が増え、より幅広い層に幅広い指導ができることにも、小学～高校という長期スパンの指導メニューも視野に入るようになりました。全国大会で結果を出す先輩たちの姿は、下の世代も刺激してくれています。限られた時間の中でどう結果を出していくか指導者として試行錯誤するのは、難しくも楽しいもの。スタッフには多種目で全国レベルのプレイヤーがそろっているの、全国優勝できる選手を育てる環境や仕組みをみんなで確立し、香川のプレー水準向上に貢献したいと思っています。(彩香さん)



新井 歴さん
(テニス担当／2014年入社)

高校生が進学に伴って引退していく半面、小学生クラスは増えた2022年。個人差はあるものの全体的な成長がみられた1年で、今後の活躍が楽しみです。生徒数が増えれば、今以上に技術的な指導に力を入れていけるはず。特に中・高校生層の強化は重要な課題ととらえ、中学校で行っている外部指導やSNSを通じたPRにしっかり取り組みたいと思っています。



北岡 咲姫さん
(ショップ担当／2019年入社)

入社4年目を迎えて自分の役割が明確になってきました。常連のお客さまにも新鮮なショップであり続けられるよう、ディスプレイをこまめに変えたりと、店頭でもいろいろ工夫しています。やりたいことに挑戦でき、失敗しても「続けてみよう」と背中を押してくれる社風のもと、一から新しい企画を立てて成功に導ける発信力をみがいていきたい!



児玉 飛鳥さん
(卓球担当／2019年入社)

22年は地区大会ベスト16に入った生徒もいて、さらに上を目指したいところですが、一番大切なのは生徒本人の気持ち。うまくいかない時に落ち込むのもよくわかりますから、意識改革と人間的成長に重点を置いて、一人一人に合わせたケアと指導を心掛けています。「できない過程も楽しんではいい」と伝える上でも、私自身のプレー経験が生きています。



木村 莉乃さん
(トレーニング担当／2019年入社)

体育系の大学で運動生理学を学び、理論とデータに基づく効果的なトレーニングを組み立てて指導しています。日頃心掛けてるのは、目の前の相手に響く言い方を工夫して、言葉できちんと伝えること。試合で勝ちたい生徒も増えてきましたから、試合の結果や実力を出し切れないうちのケアも含め、メンタルの強化にも取り組みたいと思っています。



造田 尚紀さん
(ショップ担当／2023年入社)

就活では大好きなバドミントンに関わる仕事を探し、スクールとショップを運営している当社の独自性とお客さまと直接ふれあう機会の多い環境に惹かれました。今は多種目の商品知識と接客の基本を学ぶ段階ですが、早く外商や仕入れも担当できるようにしたい! 業績好調なスクールに負けないよう、ショップを盛り上げていくのが今の目標です。



松本 瑤さん
(ソフトテニス担当／2021年入社)

2021年に続いて22年も四国大会出場者を輩出でき、クラス運営はとても順調。高校進学後も通い続けてくれる子がいて、下の世代のいい刺激になっています。部活と違って異なる学校の生徒と一緒にプレーする当スクールは練習試合のようなもので、社会勉強の場にもなります。保護者と連携しながら、この環境の魅力を生かした指導を心掛けたいですね。



近藤 優斗さん
(バドミントン担当／2023年入社)

ショップの利用客からアルバイトになり、就活に当たって将来の目標を見つけられず悩んでいた時、「当社でやってみないか」と声を掛けられて心を決めました。小学生からプレーしてきたバドミントンのスキルを生かし、初心者から県上位クラスまで幅広い層の指導を担当。社員同士の距離が近く、多種目のコーチ間の情報共有がとても勉強になります!



みんなスポーツしよう!

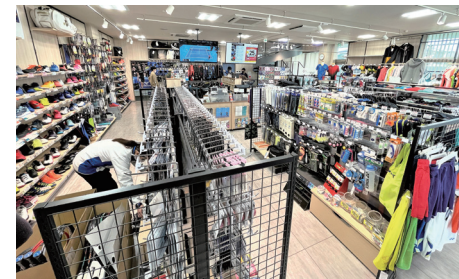
地域創生Doスポーツ!
スポーツを通じて
誰もが幸せになる社会へ



■2F卓球場



Executive／日下 昇
株式会社スポーツライフ
代表取締役社長



■1Fショップ

代 表取締役の日下昇さんは、「スポーツスクールとショップを一体化し、双方を軸に相乗効果を追求する企業スタイルですが、せっかく整えた施設力を活かしてもう少し広くコミュニティの輪を広げたい」と意欲的。外商を含めた広域の情報発信にも注力していく方針です。

地域全体に開かれた多機能なコミュニティに

リニューアルから2年、コロナ禍中は社会全体でスポーツ活動の機会が減る中でも果敢な拡大路線を打ち出し続けて、事業運営は今も順調です。各種目の県大会・四国大会レベルで上位に勝ち上がるプレイヤーを次々と輩出し、高い戦績を誇るコーチ陣の指導ニーズも増えていますが、ストイックに結果を追求するばかりではなく、子どもから高齢者まで「楽しく体を動かしたい」「子どもにも運動を楽しんでほしい」といった幅広い声に応える環境づくりを重視しています。

従来のショップフロアは2倍規模に拡大し、ラケットスポーツ用品だけでなくサポーターやインソール、トレーニングウェアなど、四国最大規模の充実したラインナップをそろえています。ショップの2階には卓球場や多目的ルーム、休憩室をつくり、スクールの生徒にとっても社員にとってもより快適な環境が整いました。

拠点機能と実績をベースに幅広い運動ニーズに応える

テニス・ソフトテニス・バドミントン・卓球などのラケットスポーツ専門店として、約40年にわたって香川を拠点にスポーツの楽しさを発信してきた同社。スポーツスクール用の体育館とテニスコートを備える本部の拠点機能をさらに高めようと、2021年に大幅な建物のリニューアルを行いました。

がネット時代でも直接顔が見えるコミュニティを重視しており、重点はあくまで香川県内。地域の誰もがスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことで幸せになる社会の実現に向けて、スポーツを通じて地域全体のコミュニティを活性化する「香川スポーツ&トレーニングパーク」の構想を温め続けています。

「スポーツをすることは、これからの社会でより大切なことになってきます。身体、心、脳の活性化、リフレッシュ、ダイエット、体力、免疫力の強化など、スポーツには多くの効能が溢れています。また、人間力・人間性・社会性など、人が生きていく上で必要なものを身に付けることができます。」と日下さん。本社を事務局としてラケットスポーツ以外にも含めた多様性を自由に楽しめるスポーツクラブ活動や、周辺地域へ足を延ばすウオーキング・ジョギングクラブ・飲食店とコラボした軽食の提供、小学生を対象とする学習塾といった、スポーツの枠にとどまらない展開も視野に入れています。本社2階の多目的スペース「on the earth」も、こうしたコミュニティの場の一つ。スポーツは地球上で行う生命活動であり、そこから生まれるつながりがあるという日下さんの思いを込めた命名です。

プレイヤーとして磨いたスキルを仕事に活かせるという、スタッフには競技経験者が多いものの、仕事への熱意と地域への想い、そしてスポーツが好き!という気持ちがあれば、プレー経験は一切問わず広く受け入れられている同社。「地域に根差し、スマホやPCから離れて地に足のついた環境で、大人も子どももアスリートも一緒に楽しむ自由な体を動かす場所をつくる。それが私たちの考える『地域創生・DOスポーツ創造企業』の姿です」と思い描く日下さん。「そういう夢を一緒に追いかけてくれる人と、まずは今の拠点をしっかり盛り立てていきたいですね」。